垣根を越え生まれた、厳選されたまちの逸品

薩摩のさつま

※題字は株式会社昭和書体の書家・故 坂口綱紀氏による

独自の認証基準を満たし、自信を持って推奨する本町の地域ブランド「薩摩のさつま」が誕生しました。

元々「薩摩のさつま」は、平成17年頃、当時のさつま農協が野菜や果樹などの統一ブランドとして立ち上げたもの。その名称に大きな魅力を感じていた若手事業者の有志の「町の統一ブランドとして、結束した力でふるさとを発信していきたい」という想いが北さつま農協に伝わり理解を得られたことがきっかけです。町内の事業者、北さつま農協、商工会、観光特産品協会、役場の垣根を越え、全国に通用する逸品の販売を通じて、町を元気にすることが目標です。互いの商品を説明し合える「おとなりさんのソムリエ」を合言葉に、ともに高め合うことを理念にしており、事業者同士のつながりや信頼関係も育んできました。

3月17日、16事業所18品目が認証を受け、発表会を開催。薩摩のさつまブランド推進協議会の幹事長を務める堀之内力三さんは「ふるさとが明るい未来へと向かっていく原動力になると信じています。結束を活かしてみんなでやっていきましょう」と力強くあいさつしました。

認証商品に貼るシールの販売代金の一部は寄附され、未来を担う子どもたちの教育やスポーツ振興に使われます。これには、子どもたちに町への愛着と誇りを持ってほしいという想いが込められています。ふるさと納税の返礼品のほか、店舗やインターネットでの販売が始まっています。

薩摩のさつま

令和四年三月、地域ブランド
「薩摩のさつま」が生まれました。

○薩摩のさつまブランドの約束

鹿児島県薩摩郡さつま町は、
まさに「薩摩のさつま」
さつま町でうまれ、
独自の認証基準を満たし、
自信を持ってオススメできるものが、
薩摩のさつまブランド。
じょじょん熱い想いを込めて
九州・薩摩から届けます。

認証品の売上の一部は、さつま町の子どもたちの教育やスポーツのために活用されます。

ぜひ、ブランドマークのついた認証品をご確認ください。

薩摩のさつまブランド推進協議会